

**基本方針1 上下水道の機能強化**

水道の整備推進及び機能保全

下水道の整備推進及び機能保全

災害に強い上下水道の確立

熊本市上下水道事業震災復旧復興計画の着実な推進



**基本方針2 環境に配慮した水循環社会の形成**

「地下水都市くまもと」の水環境・水循環の保全

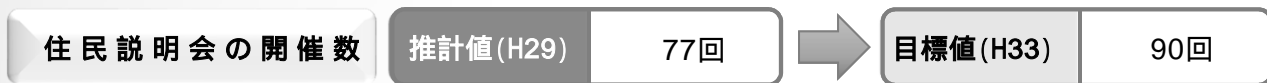
環境負荷低減策の推進



**基本方針3 お客さまを真ん中にした事業運営**

信頼性・利便性の向上と広報・広聴の充実

お客さまの参画と水に関わる人たちとの連携・協働



**基本方針4 安定した事業経営**

経営基盤の強化

執行体制の整備と人材の育成



財政見直しについて

	水道	下水道	工業用水道
料金水準・体系	<b>期間中、現在の料金体系を維持</b>		
純損益 (H30-33)	平均20億円の黒字	平均12億円の黒字	収支均衡
建設改良費 (震災除くH30-33)	平均64億円	平均100億円	平均10万円
一般会計繰入 (H33末)	1.7億円	57億円	87万円 赤字補てん繰入
企業債残高 (H33末残高)	334億円	1,306億円	925千円

**【平成29年度中間見直し概要版】**

1 経営基本計画の概要

計画策定の趣旨及び中間見直しについて

本計画は、上下水道局の使命を果たすための具体的な方針を示すものとして平成24年3月に策定しました。本計画に基づき事業を推進してきましたが、10年計画の折り返しポイントを迎え、その間に示された国のビジョンの反映や熊本地震からの復旧・復興事業の着実な推進に向けて、本計画の中間見直しを行いました。

計画の位置付けと計画期間

本市の最上位計画である「熊本市第7次総合計画」を受け、本市上下水道事業の根幹に位置する計画とし、計画期間を平成24年度から平成33年度までとします。

2 中間見直しの主なポイント

**Point 1** 熊本市上下水道事業震災復旧復興計画の反映

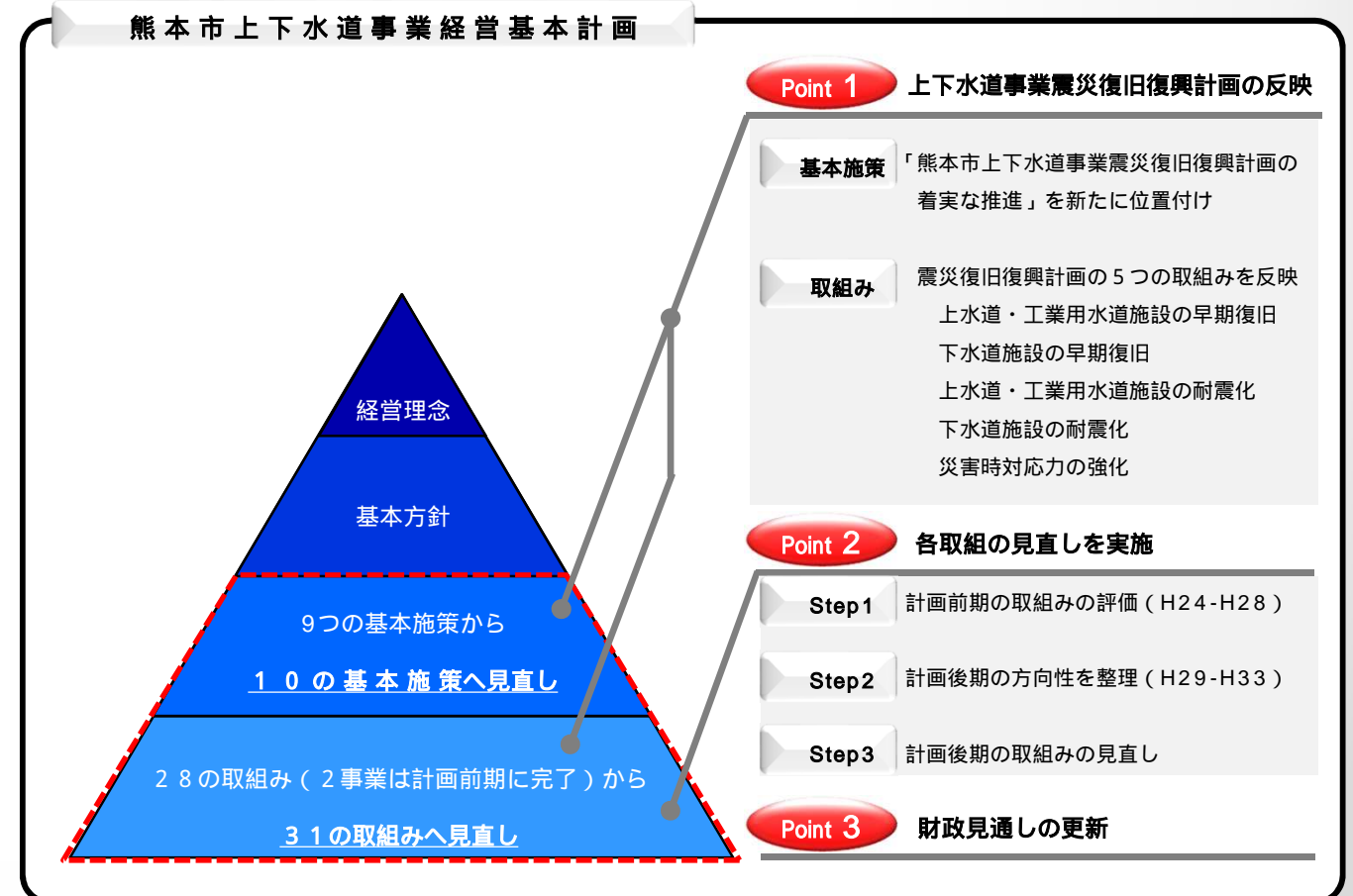
熊本地震における課題や教訓を踏まえ策定した「熊本市上下水道事業震災復旧復興計画」を、基本施策の一つに位置付け、復旧・復興への施策や取組みを推進します。

**Point 2** 計画前期の評価と計画後期における方向性を踏まえた各取組みの見直しを実施

計画前期における取組みを評価し、計画後期における取組みの方向性を整理するとともに、これらを踏まえ今後取り組むべき事業を見直しました。

**Point 3** 財政見通しの更新

総人口の減少、節水機器の普及等による料金収入の減少や上下水道施設の更新需要の増加、熊本地震による復興財源の確保等を踏まえ、財政見直しを更新しました。



経営理念1 ライフラインの機能強化に努めます

経営理念2 環境を保全し水循環社会形成に努めます

経営理念3 お客さまの視点に立った企業運営に取り組みます

経営理念4 公営企業として効果的・効率的な経営に努めます

経営理念実現に向けて、4つの基本方針と10の基本施策を定め、それぞれの取組みを着実に推進します。

基本方針1 上下水道の機能強化

計画後期の方向性	熊本地震で被災した上下水道施設の機能回復及び耐震化の推進 熊本地震での教訓を活かした、災害に強い上下水道の確立 更新時期を迎える上下水道施設の適切な維持管理の実施 等
----------	---

基本施策1 水道の整備推進及び機能保全

主な取組 水道施設の機能強化・・・未普及地区の整備、小規模施設の統廃合、配水区間の水融通管整備  
水道施設の維持管理・・・老朽管の更新、施設の延命化、公民連携による施設維持管理の検討

基本施策2 下水道の整備推進及び機能保全

主な取組 公共下水道の整備・・・下水道未普及地区の解消、下水道新技術の導入検討  
下水道施設の維持管理・・・下水道施設の長寿命化、不明水対策、包括的民間委託の拡大検討

基本施策3 災害に強い上下水道の確立

主な取組 総合的危機管理体制の確立・・・災害用給水タンクの設置、災害対策用貯水施設の整備  
地震対策の推進・・・配水池及び浄化センターと防災拠点をつなぐ管路の耐震化

Point 1

基本施策4 熊本市上下水道事業震災復旧復興計画の着実な推進

主な取組 上水道・工業用水道施設の早期復旧・・・被災した管路・配水池等の速やかな原形復旧  
下水道施設の早期復旧・・・被災した浄化センター・ポンプ場・管路等の速やかな原形復旧  
上水道・工業用水道施設の耐震化・・・被災した施設・管路の復旧や更新に合わせた耐震化  
下水道施設の耐震化・・・浄化センターの耐震化、非常用発電設備の設置  
災害時対応力の強化・・・受援体制の構築、応急給水体制の強化、マンホールトイレの整備

基本方針2 環境に配慮した水循環社会の形成

計画後期の方向性	地下水を将来にわたって守っていく地下水保全への取組みの推進 下水道高度処理の推進、総合的な生活排水処理対策の推進 地球温暖化対策の推進、自然エネルギーや下水道資源の有効活用 等
----------	--

基本施策5 「地下水都市くまもと」の水環境・水循環の保全

主な取組 地下水を「育む」取組み・・・地下水かん養の推進と水源保全、市東部堆肥センター整備への協力  
水を自然に「還す」取組み・・・生活排水処理部局と連携した総合的な生活排水処理対策の推進

基本施策6 環境負荷低減策の推進

主な取組 地球温暖化対策の推進・・・自然エネルギーの有効活用、施設の緑化推進・省エネ機器の導入  
下水道高度処理の推進・・・下水道高度処理施設の導入推進

基本方針3 お客さまを真ん中にした事業運営

計画後期の方向性	多様化・高度化するお客さまニーズへの対応 コンプライアンス遵守や適正な事務処理の徹底 他の自治体との連携強化、環境・農業分野との連携した事業推進 等
----------	--

基本施策7 信頼性・利便性の向上と広報・広聴の充実

主な取組 お客さまニーズの的確な把握・・・お客さまアンケートによるニーズの把握・対応、ホームページアクセス数の分析等によるお客さまニーズの把握  
お客さまに身近でわかりやすい情報の提供・・・民間業者の広報手法を取り入れた情報発信、災害時広報計画に基づく情報の受発信

基本施策8 お客さまの参画と水に関わる人たちとの連携・協働

主な取組 お客さまの施策形成への参画・・・上下水道事業運営審議会(学識経験者・公募委員等)やお客さまの意見を踏まえた事業運営  
水に関わる人たちとの連携・協働・・・広域的な地下水保全への取組み、災害時協定の締結、農業分野との連携強化

基本方針4 安定した事業経営

計画後期の方向性	料金収入(水道料金・下水道使用料)減少を見据えた事業経営 上下水道施設の更新需要拡大への対応 より一層の経営改善や人材育成 等
----------	---

基本施策9 経営基盤の強化

主な取組 中長期的な財政見通しに基づく事業経営・・・熊本地震の影響を踏まえた中長期的な財政見通しの策定  
企業債残高の計画的削減  
料金・負担金等のあり方・・・現行の料金水準維持を前提とした事業経営

Point 3

基本施策10 執行体制の整備と人材の育成

主な取組 人材の育成・・・研修・訓練の拡充、技術の継承、上下水道両部門の事業に精通した人材育成  
国際貢献・・・海外からの視察・研修の積極的な受け入れ、上下水道事業の情報・技術提供

の各取組みは、Point 2 により見直しを行った取組みを示しています。